

グループの平均

記録

出力の作成日付	10-7-2009 12:54:05	
コメント		
入力	データ	D:\\$spss\DATA¥プロゼミ 2009¥2009data.sav
	アクティブ データセット	データセット1
	フィルタ	<なし>
	重み付け	<なし>
	分割ファイル	<なし>
	作業データファイル内の 行数	227
欠損値の処理	欠損の定義	テーブル中の各従属変数について、従属 変数とすべてのグループ化変数のユーザー 欠損値は、欠損として扱われます。
	使われたケース	個々のテーブルに使用されるケースには独 立変数の欠損値はありません。すべ ての従属変数に欠損値があるわけ ではありません。
シンタックス	MEANS TABLES=問4 BY 問6 /CELLS MEAN COUNT STDDEV /STATISTICS ANOVA.	
リソース	プロセッサ時間	0:00:00.000
	経過時間	0:00:00.000

[データセット1] D:\\$spss\DATA¥プロゼミ2009¥2009data.sav

処理したケースの要約

	ケース					
	含まれたケース		除かれたケース		合計	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
問4 問4 問2のうち自由に使えるお金はどれくらいありますか? x 問6 問6 交通手段 (行動範囲)	227	100.0%	0	.0%	227	100.0%

報告書

問4 問4 問2のうち自由に使えるお金はどれくらいありますか?

問6 問6 交通手段 (行動範囲)	平均値	度数	標準偏差
狭い	3.275	173	2.4665
広い	4.615	54	3.1725
合計	3.593	227	2.7051

分散分析表

		平方和	自由度	平均平方
問4 問4 問2のうち自由に使えるお金はどれくらいありますか? x 問6 問6 交通手段 (行動範囲)	グループ間 (結合)	73.917	1	73.917
	グループ内	1579.811	225	7.021
	合計	1653.728	226	

分散分析表

		F値	有意確率
問4 問4 問2のうち自由 に使えるお金はどれくら いありますか? x 問6 問6 交通手段 (行動範 囲)	グループ間 (結合) グループ内 合計	10.527	.001

連関の測定方法

	イータ	イータの2乗
問4 問4 問2のうち自由 に使えるお金はどれくら いありますか? x 問6 問6 交通手段 (行動範囲)	.211	.045

一元配置分析

記録

出力の作成日付	10-7-2009 14:15:07	
コメント		
入力	データ	D:\\$spss\DATA¥プロゼミ 2009¥2009data.sav
	アクティブ データセット	データセット2
	フィルタ	<なし>
	重み付け	<なし>
	分割ファイル	<なし>
	作業データファイル内の 行数	127
欠損値の取り扱い	欠損の定義	ユーザー欠損値は欠損として扱われ ます。
	使用されたケース	各分析のための統計量は、分析中の すべての変数に欠損値がないケー スに基づいています。
シンタックス	ONEWAY 自由支出 BY 問7r /STATISTICS DESCRIPTIVES /PLOT MEANS /MISSING ANALYSIS /POSTHOC=TUKEY ALPHA(0.05).	
リソース	プロセッサ時間	0:00:00.266
	経過時間	0:00:00.343

[データセット2] D:\\$spss\DATA¥プロゼミ2009¥2009data.sav

記述統計

自由支出

	度数	平均値	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間	
					下限	上限
自由に使えるお金を得る ため	75	3.6387	2.54367	.29372	3.0534	4.2239
生活費を得るため	21	2.6143	2.76067	.60243	1.3576	3.8709
その他	24	2.5958	1.76918	.36113	1.8488	3.3429
合計	120	3.2508	2.48237	.22661	2.8021	3.6995

記述統計

自由支出

	最小値	最大値
自由に使えるお金を得るため	.00	14.00
生活費を得るため	-3.00	7.00
その他	.00	6.00
合計	-3.00	14.00

分散分析

自由支出

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
グループ間	30.087	2	15.043	2.503	.086
グループ内	703.213	117	6.010		
合計	733.300	119			

その後の検定

多重比較

自由支出

Tukey HSD

(I) 問7r 問7r recodeアルバイトをする(探す) …	(J) 問7r 問7r recodeアルバイトをする(探す)…	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率
自由に使えるお金を得るため	生活費を得るため	1.02438	.60527	.212
	その他	1.04283	.57495	.170
生活費を得るため	自由に使えるお金を得るため	-1.02438	.60527	.212
	その他	.01845	.73256	1.000
その他	自由に使えるお金を得るため	-1.04283	.57495	.170
	生活費を得るため	-.01845	.73256	1.000

多重比較

自由支出

Tukey HSD

(I) 問7r 問7r recodeアルバイトをする(探す) 目的は何ですか?(主な…	(J) 問7r 問7r recodeアルバイトをする(探す) 目的は何ですか?(主…	95% 信頼区間	
		下限	上限
自由に使えるお金を得るため	生活費を得るため	-.4125	2.4612
	その他	-.3221	2.4077
生活費を得るため	自由に使えるお金を得るため	-2.4612	.4125
	その他	-1.7206	1.7575
その他	自由に使えるお金を得るため	-2.4077	.3221
	生活費を得るため	-1.7575	1.7206

等質サブグループ

自由支出

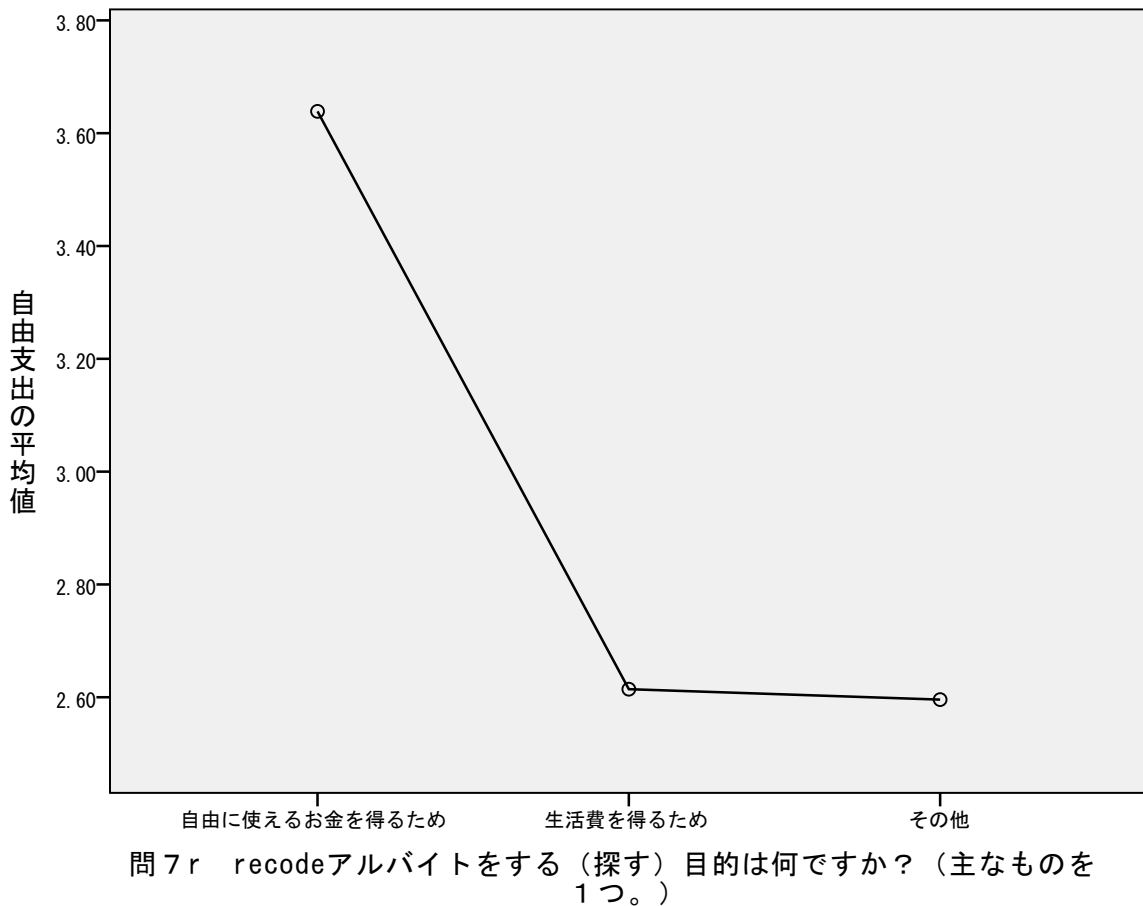
Tukey HSD^{a, b}

問7r 問7r recode アルバ イトをする (探す) 目的 は何ですか? (主なもの を1つ。)	度数	$\alpha = 0.05$ のサ ブグループ
		1
その他	24	2.5958
生活費を得るため	21	2.6143
自由に使えるお金を得る ため	75	3.6387
有意確率		.239

等質なサブグループのグループ平均値が表示されていま
す。

- 調和平均サンプルサイズ = 29.234 を使用
- グループ サイズが等しくありません。グループ
サイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー
有意水準 0.05 は保証されません。

平均値のプロット



一変量の分散分析

記録

出力の作成日付		10-7-2009 14:15:07
コメント		
入力	データ	D:\\$spss\DATA¥プロゼミ 2009¥2009data.sav
	アクティブ データセット	データセット2
	フィルタ	<なし>
	重み付け	<なし>
	分割ファイル	<なし>
	作業データファイル内の 行数	127
欠損値の扱い	欠損の定義	ユーザー定義の欠損値は欠損として 扱われます。
	使用されたケース	統計量はモデル中のすべての変数に 対して有効データを持つすべての ケースに基づいています。
シンタックス		uNANOVA 自由支出 BY 問7r 生活 /METHOD=SSTYPE(3) /INTERCEPT=INCLUDE /POSTHOC=問7r(TUKEY) /PLOT=PROFILE(問7r*生活) /EMMEANS=TABLES(問7r) /EMMEANS=TABLES(生活) /EMMEANS=TABLES(問7r*生活) /PRINT=DESCRIPTIVE /CRITERIA=ALPHA(.05) /DESIGN=問7r 生活 問7r*生活.
リソース	プロセッサ時間	0:00:00.266
	経過時間	0:00:00.437

[データセット2] D:\\$spss\DATA¥プロゼミ2009¥2009data.sav

被験者間因子

	値ラベル	N
問7r 問7r recodeアルバ イトをする(探す)目的 は何ですか?(主なもの を1つ。)	1.00 自由に使える お金を得るた め	74
	2.00 生活費を得る ため	21
	3.00 その他	23
生活 生活	1 実家生	38
	2 下宿生	80

記述統計量

従属変数:自由支出

問7r 問7r recodeアル...	生活...	平均値	標準偏差	N
自由に使えるお金を得るため	実家生	3.3724	2.30433	29
	下宿生	3.8244	2.72239	45
	総和	3.6473	2.55992	74
生活費を得るため	実家生	.7600	2.62926	5
	下宿生	3.1937	2.61036	16
	総和	2.6143	2.76067	21
その他	実家生	1.1250	1.31498	4
	下宿生	2.7789	1.69528	19
	総和	2.4913	1.73150	23
総和	実家生	2.7921	2.45526	38
	下宿生	3.4500	2.50559	80
	総和	3.2381	2.49813	118

被験者間効果の検定

従属変数:自由支出

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	68.597 ^a	5	13.719	2.323	.048
切片	364.468	1	364.468	61.703	.000
問7r	54.083	2	27.041	4.578	.012
生活	33.142	1	33.142	5.611	.020
問7r * 生活	14.371	2	7.186	1.216	.300
誤差	661.561	112	5.907		
総和	1967.450	118			
修正総和	730.158	117			

a. R2 乗 = .094 (調整済み R2 乗 = .053)

推定周辺平均

1. 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを1つ。)

従属変数:自由支出

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを...	平均値	標準誤差	95% 信頼区間	
			下限	上限
自由に使えるお金を得るため	3.598	.289	3.025	4.172
生活費を得るため	1.977	.623	.743	3.210
その他	1.952	.669	.627	3.277

2. 生活

従属変数:自由支出

生活	平均値	標準誤差	95% 信頼区間	
			下限	上限
実家生	1.752	.564	.635	2.870
下宿生	3.266	.300	2.671	3.861

3. 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを1つ。) * 生活

従属変数:自由支出

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…)	生活	平均値	標準誤差	95% 信頼区間	
				下限	上限
自由に使えるお金を得るため	実家生	3.372	.451	2.478	4.267
	下宿生	3.824	.362	3.107	4.542
生活費を得るため	実家生	.760	1.087	-1.394	2.914
	下宿生	3.194	.608	1.990	4.398
その他	実家生	1.125	1.215	-1.283	3.533
	下宿生	2.779	.558	1.674	3.884

その後の検定

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを1つ。)

多重比較

自由支出
Tukey HSD

(I) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的…	(J) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目…	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率
自由に使えるお金を得るため	生活費を得るため	1.0330	.60091	.203
	その他	1.1560	.58021	.119
生活費を得るため	自由に使えるお金を得るため	-1.0330	.60091	.203
	その他	.1230	.73355	.985
その他	自由に使えるお金を得るため	-1.1560	.58021	.119
	生活費を得るため	-.1230	.73355	.985

観測平均値に基づいています。
誤差項は平均平方(誤差) = 5.907 です。

多重比較

自由支出
Tukey HSD

(I) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…	(J) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…	95% 信頼区間	
		下限	上限
自由に使えるお金を得るため	生活費を得るため	-.3943	2.4603
	その他	-.2222	2.5341
生活費を得るため	自由に使えるお金を得るため	-2.4603	.3943
	その他	-1.6194	1.8654
その他	自由に使えるお金を得るため	-2.5341	.2222
	生活費を得るため	-1.8654	1.6194

観測平均値に基づいています。
誤差項は平均平方(誤差) = 5.907 です。

等質サブグループ

自由支出

Tukey HSD^{a,b,c}

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…	N	サブグループ
		1
その他	23	2.4913
生活費を得るため	21	2.6143
自由に使えるお金を得るため	74	3.6473
有意確率		.174

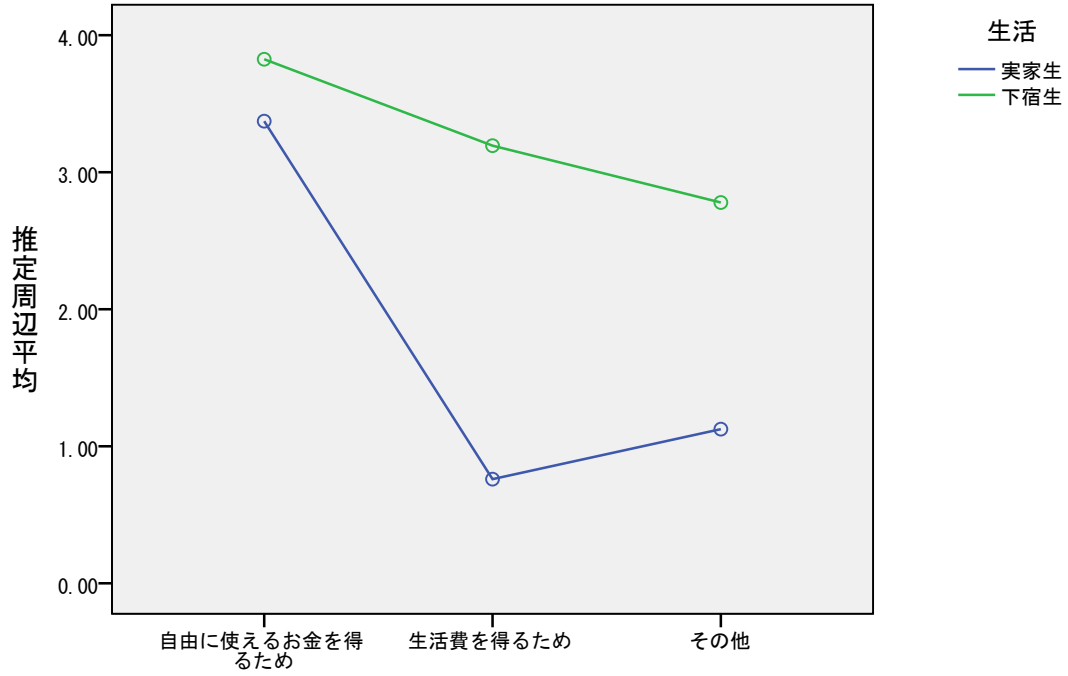
均質なサブセットのグループに対する平均値が表示されます。

観測平均値に基づいています。
誤差項は平均平方(誤差) = 5.907 です。

- a. 調和平均サンプル サイズ = 28.678 を使用します。
- b. グループのサイズが等しくありません。グループのサイズの調和平均が使用されています。タイプ I エラー水準は保証されません。
- c. アルファ = .05

プロファイル プロット

自由支出 の推定周辺平均



問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか？(主なものを1つ。)

一元配置分析

記録

出力の作成日付	10-7-2009 14:15:56	
コメント		
入力	データ	D:\\$spss\DATA¥プロゼミ 2009¥2009data. sav
	アクティブ データセット	データセット3
	フィルタ	<なし>
	重み付け	<なし>
	分割ファイル	<なし>
	作業データファイル内の 行数	100
欠損値の取り扱い	欠損の定義	ユーザー欠損値は欠損として扱われ ます。
	使用されたケース	各分析のための統計量は、分析中の すべての変数に欠損値がないケース に基づいています。
シンタックス	ONEWAY 自由支出 BY 問7r /STATISTICS DESCRIPTIVES /PLOT MEANS /MISSING ANALYSIS /POSTHOC=TUKEY ALPHA(0.05).	
リソース	プロセッサ時間	0:00:00.282
	経過時間	0:00:00.313

[データセット3] D:\\$spss\DATA¥プロゼミ2009¥2009data. sav

記述統計

自由支出

	度数	平均値	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間	
					下限	上限
自由に使えるお金を得る ため	55	1.6509	1.44772	.19521	1.2595	2.0423
生活費を得るため	11	1.6645	1.37158	.41355	.7431	2.5860
その他	21	1.5810	1.82664	.39861	.7495	2.4124
合計	87	1.6357	1.52043	.16301	1.3117	1.9598

記述統計

自由支出

	最小値	最大値
自由に使えるお金を得る ため	.00	5.00
生活費を得るため	.00	4.00
その他	.00	7.00
合計	.00	7.00

分散分析

自由支出

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
グループ間	.085	2	.042	.018	.982
グループ内	198.722	84	2.366		
合計	198.807	86			

その後の検定

多重比較

自由支出
Tukey HSD

(I) 問7r 問7r recodeアル バイトをする(探す) …	(J) 問7r 問7r recodeア ルバイトをする(探す…	平均値の差 (I- J)	標準誤差	有意確率
自由に使えるお金を得る ため	生活費を得るため その他	-.01364 .06996	.50802 .39455	1.000 .983
生活費を得るため	自由に使えるお金を得る ため その他	.01364 .08359	.50802 .57247	1.000 .988
その他	自由に使えるお金を得る ため 生活費を得るため	-.06996 -.08359	.39455 .57247	.983 .988

多重比較

自由支出
Tukey HSD

(I) 問7r 問7r recodeアル バイトをする(探す) 目 的は何ですか?(主な…	(J) 問7r 問7r recodeア ルバイトをする(探す) 目的は何ですか?(主…	95% 信頼区間	
		下限	上限
自由に使えるお金を得る ため	生活費を得るため その他	-1.2257 -.8714	1.1985 1.0113
生活費を得るため	自由に使えるお金を得る ため その他	-1.1985 -1.2823	1.2257 1.4495
その他	自由に使えるお金を得る ため 生活費を得るため	-1.0113 -1.4495	.8714 1.2823

等質サブグループ

自由支出

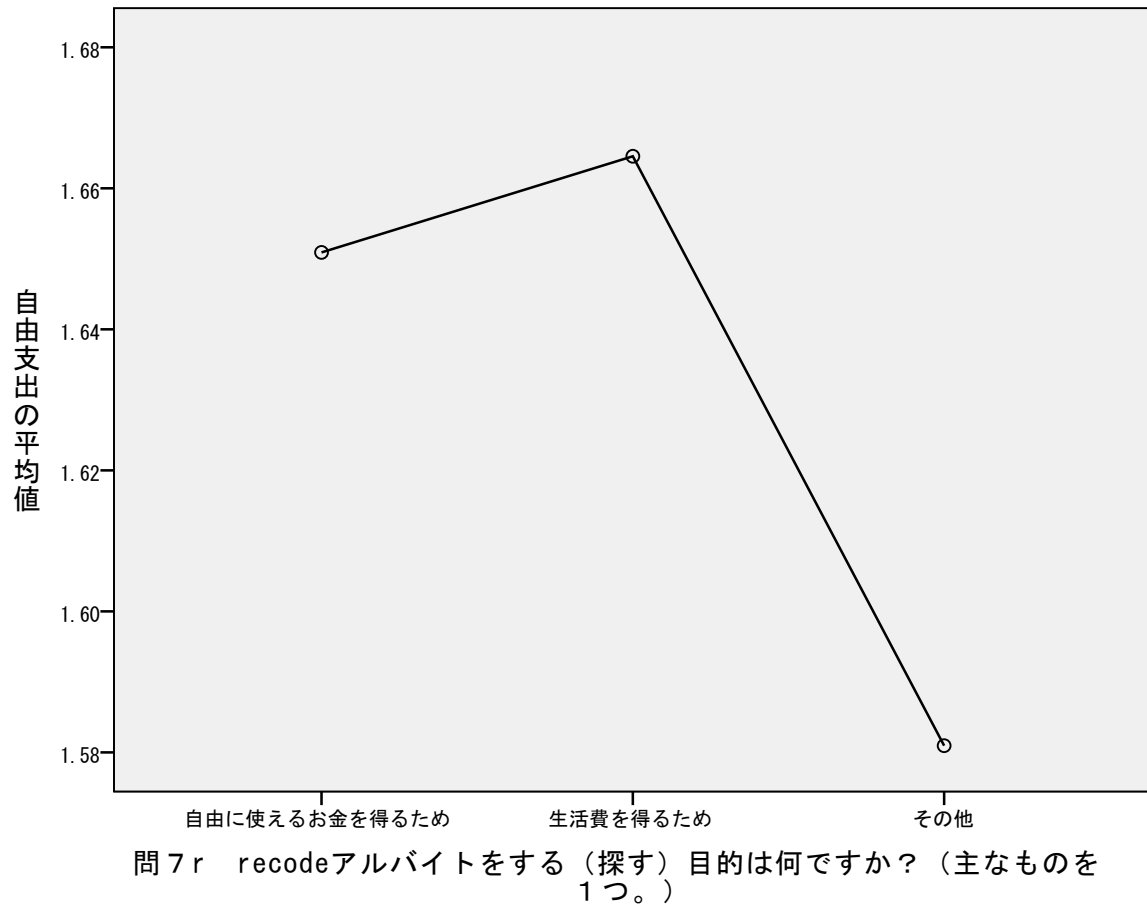
Tukey HSD^{a,b}

問7r 問7r recodeアルバ イトをする(探す) 目的 は何ですか?(主なもの を1つ。)	度数	$\alpha=0.05$ のサ ブグループ
		1
その他	21	1.5810
自由に使えるお金を得る ため	55	1.6509
生活費を得るため	11	1.6645
有意確率		.985

等質なサブグループのグループ平均値が表示されていま
す。

- 調和平均サンプルサイズ = 19.144 を使用
- グループ サイズが等しくありません。グループ
サイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー
有意水準 0.05 は保証されません。

平均値のプロット



一変量の分散分析

記録

出力の作成日付		10-7-2009 14:15:56
コメント		
入力	データ	D:\\$spss\DATA¥プロゼミ 2009¥2009data.sav
	アクティブ データセット	データセット3
	フィルタ	<なし>
	重み付け	<なし>
	分割ファイル	<なし>
	作業データファイル内の 行数	100
欠損値の扱い	欠損の定義	ユーザー定義の欠損値は欠損として扱われます。
	使用されたケース	統計量はモデル中のすべての変数に対して有効データを持つすべてのケースに基づいています。
シンタックス		uNANOVA 自由支出 BY 問7r 生活 /METHOD=SSTYPE(3) /INTERCEPT=INCLUDE /POSTHOC=問7r(TUKEY) /PLOT=PROFILE(問7r*生活) /EMMEANS=TABLES(問7r) /EMMEANS=TABLES(生活) /EMMEANS=TABLES(問7r*生活) /PRINT=DESCRIPTIVE /CRITERIA=ALPHA(.05) /DESIGN=問7r 生活 問7r*生活.
リソース	プロセッサ時間	0:00:00.250
	経過時間	0:00:00.421

[データセット3] D:\\$spss\DATA¥プロゼミ2009¥2009data.sav

被験者間因子

	値ラベル	N
問7r 問7r recodeアルバ イトをする(探す)目的 は何ですか?(主なもの を1つ。)	1.00 自由に使える お金を得るた め	54
	2.00 生活費を得る ため	11
	3.00 その他	20
生活 生活	1 実家生	27
	2 下宿生	58

記述統計量

従属変数:自由支出

問7r 問7r recodeアル...	生活...	平均値	標準偏差	N
自由に使えるお金を得るため	実家生	.9864	1.04713	22
	下宿生	2.1594	1.49663	32
	総和	1.6815	1.44328	54
生活費を得るため	下宿生	1.6645	1.37158	11
	総和	1.6645	1.37158	11
その他	実家生	.5400	.64653	5
	下宿生	1.9867	2.00708	15
	総和	1.6250	1.86262	20
総和	実家生	.9037	.99052	27
	下宿生	2.0209	1.60413	58
	総和	1.6660	1.52432	85

被験者間効果の検定

従属変数:自由支出

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	25.833 ^a	4	6.458	3.051	.022
切片	89.987	1	89.987	42.511	.000
問7r	2.810	2	1.405	.664	.518
生活	19.986	1	19.986	9.442	.003
問7r * 生活	.218	1	.218	.103	.749
誤差	169.345	80	2.117		
総和	431.100	85			
修正総和	195.178	84			

a. R2 乗 = .132 (調整済み R2 乗 = .089)

推定周辺平均

1. 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを1つ。)

従属変数:自由支出

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを...	平均値	標準誤差	95% 信頼区間	
			下限	上限
自由に使えるお金を得るため	1.573	.201	1.172	1.974
生活費を得るため	1.665 ^a	.439	.792	2.538
その他	1.263	.376	.516	2.011

a. 修正グループ周辺平均値に基づく

2. 生活

従属変数:自由支出

生活	平均値	標準誤差	95% 信頼区間	
			下限	上限
実家生	.763 ^a	.360	.046	1.480
下宿生	1.937	.211	1.517	2.356

a. 修正グループ周辺平均値に基づく

3. 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを1つ。) * 生活

従属変数:自由支出

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…)	生活	平均値	標準誤差	95% 信頼区間	
				下限	上限
自由に使えるお金を得るため	実家生	.986	.310	.369	1.604
	下宿生	2.159	.257	1.648	2.671
生活費を得るため	実家生	^a	.	.	.
	下宿生	1.665	.439	.792	2.538
その他	実家生	.540	.651	-.755	1.835
	下宿生	1.987	.376	1.239	2.734

a. この水準の因子結合は観察されません。従って、対応するグループ周辺平均値は推定不可能です。

その後の検定

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを1つ。)

多重比較

自由支出
Tukey HSD

(I) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的…	(J) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目…	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率
自由に使えるお金を得るため	生活費を得るため	.0169	.48129	.999
	その他	.0565	.38084	.988
生活費を得るため	自由に使えるお金を得るため	-.0169	.48129	.999
	その他	.0395	.54615	.997
その他	自由に使えるお金を得るため	-.0565	.38084	.988
	生活費を得るため	-.0395	.54615	.997

観測平均値に基づいています。
誤差項は平均平方(誤差) = 2.117 です。

多重比較

自由支出
Tukey HSD

(I) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…	(J) 問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…	95% 信頼区間	
		下限	上限
自由に使えるお金を得るため	生活費を得るため	-1.1324	1.1663
	その他	-.8530	.9660
生活費を得るため	自由に使えるお金を得るため	-1.1663	1.1324
	その他	-1.2647	1.3438
その他	自由に使えるお金を得るため	-.9660	.8530
	生活費を得るため	-1.3438	1.2647

観測平均値に基づいています。
誤差項は平均平方(誤差) = 2.117 です。

等質サブグループ

自由支出

Tukey HSD^{a,b,c}

問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか?(主なものを…	N	サブグループ
		1
その他	20	1.6250
生活費を得るため	11	1.6645
自由に使えるお金を得るため	54	1.6815
有意確率		.992

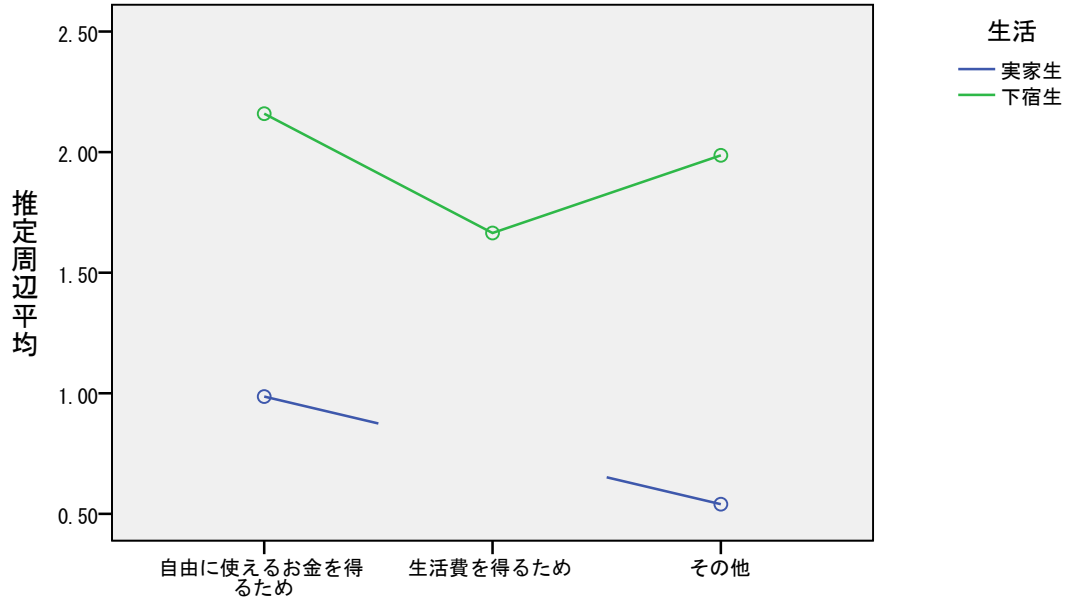
均質なサブセットのグループに対する平均値が表示されます。

観測平均値に基づいています。
誤差項は平均平方(誤差) = 2.117 です。

- a. 調和平均サンプル サイズ = 18.817 を使用します。
- b. グループのサイズが等しくありません。グループのサイズの調和平均が使用されています。タイプ I エラー水準は保証されません。
- c. アルファ = .05

プロファイル プロット

自由支出 の推定周辺平均



問7r recodeアルバイトをする(探す)目的は何ですか？(主なものを1つ。)

推定不可能な平均はプロットしない